

# 第1学年 学年通信

11号



霜月に入り、朝夕と日に日に肌寒さが感じられるようになりました。インフルエンザが流行しています。インフルエンザの予防で一番大切なのは、「うがいと手洗いの励行」。そして「栄養と休養を十分に取ること」、「適度な温度と湿度を保つこと」です。期末テストも近いので、体調管理に心掛けてください。

2学期は作品展、校外学習や体育大会、音楽会などの大きな行事があり、活躍の場面をたくさん目にしました。一人一人の成長、クラス、学年としての成長を随所で感じる事ができて、大変嬉しく思っています。そして、先日の音楽会には多くの保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。

## ＜音楽会 すばらしい合唱でした＞

11月1日(水)、名古屋市芸術創造センターで音楽会が行われました。授業後の合唱の練習では、曲の強弱や音の長さに気をつけたり、歌いだしを合わせたりして、何度も練習を重ねてきました。また、どのようにしたら美しいハーモニーが作れるのか、具体的に課題を出し合ったり、歌詞の意味を考えながら、気持ちを込めて歌うことを目標にしたりと、誰もが一生懸命になって、本番までの練習に励みました。

本番のステージでは2つのクラスともに、遜色のない出来映えで、客席からの拍手にも心がこもっていました。とにかく、全体のトップを務めなければならないという1年生の使命を見事に果たせたのは立派でした。そして、クラスや学年が一つにまとまるように真剣に取り組んできた成果が、音楽会の舞台で見事に発揮できたと思います。また、上級生の歌声には大いに刺激を受けたことでしょう。この学年ならきっと、来年も再来年もこれまでの先輩たちに負けない合唱を作り上げていくことができると信じています。

## 最優秀賞 1組 「明日へ」



クラス合唱を無事に終え、昼休憩の時に学年みんなで撮った写真です。緊張がほぐれ、悔いなく歌いきった達成感で満ちあふれています！

## これまでの練習やクラスでの話し合いなどを振り返り、音楽会を通して感じたことを作文にしました。一部を紹介します。

最初はみんなバラバラで、息が合いませんでした。でも指揮者、伴奏者、パートリーダーの人がアドバイスや良いところを言い続けてくれたことで、だんだん息が合うようになり、最終的に最優秀賞がとれました。全ては指揮者、伴奏者、パートリーダーのお陰だと思いました。そして、音楽は絆を深めるものだと感じました。

いつも最初に歌うと声が小さくなってしまうので、本番が不安だった。けれど本番は、元気一杯、笑顔で楽しく歌うことができた。練習の時は、みんな暗い顔になったり、真剣な顔になってしまい、笑顔が上手く作れなかったりした。でも笑顔を意識して歌うと、少しずつ笑顔を作れるようになった。この音楽会で学年の絆はとても深まったと思う。1組が勝利した時、「ここまで頑張ってたかった」と感じた。音楽は、人を楽しませる、感動させることができるのだと思った。

最初は伴奏と歌がずれてしまっていたけど、練習をやればやるほど、そろうようになった。各パートリーダーが指摘をしてくれて、それを少しずつ直していったことに達成感を感じた。「いいものを作ろう！」という、みんなの思いがあってこそこの最優秀賞だと思った。2年生になった時には、パートリーダーからの話を聞く姿勢などを改めて、メリハリがつけられるようになりたいと思った。そして先輩の美しい歌声を出せるように頑張りたいと思った。

本番も楽しく演奏できて、優勝できなかったのは死ぬほど悔しかったけれど、多分それは私がこの音楽会に本気で取り組んだ証拠なんだと自己解釈して、少し成長した気分になりました。この音楽会で本当に大切なのは、勝敗のこだわりではなく、「クラス、学年で協力し、1つの歌を作りあげていく過程の中での成長」と、「結果をうけて感じたことをもとに、これからどうつなげていこうとするか」だということだったのではないかと感じます。

「音楽会やりたくないな」などマイナスなことしか考えていなかったが、みんな一生懸命に練習する姿を見て、考えが変わった。時には褒められ、時には怒られたりしたが、仲間達と高め合った。そして最高の状態で迎えた本番。なんと1組も2組も欠席者が0人だったのだ。体育大会は2組の勝利。リベンジに燃える1組と連覇を狙う2組。互いの意地がぶつかり合う対決。軍配が上がったのは・・・1組だった。僕たち2組は負けたのだ。でも僕たちが練習し、努力したことは無駄なんかではない。この音楽会を通して、いろいろなものを得た。歌の実力はもちろんのこと、クラスの絆や負けた悔しさもだ。これらの経験はきっと将来に役立つだろう。

音楽会が終わって結果が発表されてすぐ後は、悔しい気持ちがこみ上げてきて、後悔すらしましたが、今は全く後悔などしていません。むしろ全員で歌えたことに感動を覚えるほどです。たとえ負けてしまっても、私たちが努力をしたという事実が変わることはないし、「その目標に向かって協力して、努力する」ということが一番大切なのかなと思っています。